

「遊び部屋」作り活動報告書

文責：鈴木朝香

【挨拶】

この度は、私たちのプロジェクト【カンボジアのスラム街に「おもちゃいっぱい遊び部屋」を作る！】にご支援いただき誠にありがとうございます。

2017年8月22日よりクラウドファンディング会社 CAMPFIRE にて公開されましたこのプロジェクトは、スラム街に住む子どもたちの健康や安全、家族や友達と過ごす機会や教育を受ける機会を守るために「遊び部屋」を設置しようという趣旨でスタートしました。

本レポートでは、これまでに行ったこのプロジェクトの活動の詳細をまとめましてご支援頂いた皆様に報告致します。また改めてこの場で感謝の意を表しまして活動報告書とさせていただきます。

【「遊び部屋」作り詳細】

場所	Young Leader Centre (YLC) 4階の一室
中心メンバー	鈴木朝香（東京外国語大学1年） Sokchea (Ray) SAING (ACE Founder/Executive Director) Rathana Sun (ACE Program Manager) Sophat Mak (ACE YLC centre coordinator)
期間	2017年8月～2018年3月（目標）

Young Leader Centre (YLC)について
Advanced Centre for Empowerment (ACE)がもつセンターの一つ。
カンボジア・プノンペン、ソバナショッピングセンターの近くにある
Sombok Chab というスラム街の中に
建っています。

(写真：YLC センター入口前)



【Advanced Centre for Empowerment (ACE) について】



主にスラムのコミュニティーにセンターを建てて、恵まれない子どもたちに英語教育を与えているカンボジアの NGO 団体で、創設者の Sokchea Ray SAING 他 15 名のスタッフと 9 名の通年ボランティア参加者が運営しています。

現在 5 つのメインプロジェクトが ACE では行われており、合計約 500 人の子どもたちが ACE のセンターに通っています。

団体ホームページ

<https://advancedcentreforempowerment.org/>

【活動報告】

〈クラウドファンディングのページ公開とプロモーション活動〉

2017 年 8 月 22 日にクラウドファンディング・キャンプファイヤーでこのプロジェクトのページ、【カンボジアのスラム街に「おもちゃいっぱい遊び部屋」を作る！】が公開されました。

鈴木朝香個人の Facebook アカウントでの紹介他、友人・知人・親族を頼って、ページのプロモーション活動を行いました。また ACE ディレクターの Sokchea (Ray) SAING やプログラム・マネージャー Rathana Sun の日本人友達にも連絡をとってもらい、可能な限り広く国内でプロジェクトを認知して頂けるよう努めました。

その後 23 日には東京外国語大学の同窓会〈東京外語会〉様の〈会員便り〉へプロジェクト紹介文を投稿。また同日鈴木の母校不動岡高校同窓会の〈不動岡学友会〉様とも連絡をとって、プロモーション活動協力をお願いをしました。

〈東京外語会 会員便り〉様への投稿は 8 月 29 日に外語会 HP に反映して頂きました。〈不動岡学友会〉様でも 9 月 5 日の役員会で学友会 HP でのプロジェクト紹介を承認して頂き、すぐに〈不動岡学友会 同窓生情報 (平成 28～29 年分)〉で掲載して頂きました。

以下が私のプロジェクトを紹介頂いたページの URL になります。

東京外語会 会員便り URL <https://posts.gaigokai.or.jp/>

不動岡学友会 同窓生情報 URL http://sydney.fudooka-h.ed.jp/?page_id=108

【カンボジアのスラム街に「おもちゃいっぱい遊び部屋」を作る！】
「遊び部屋」作り活動報告書

〈おもちゃ集めの協力願い活動〉

日本から使われていないおもちゃを集めるために、鈴木の所属する AIESEC 一橋大学委員会や協力をお約束くださった学生団体 SeedA 様のネットワークを頼って、8 月後半からカンボジアへ渡航する日本人学生に該当するおもちゃを持ってきてもらえるよう LINE 上で連絡しました。

寄付頂きたいおもちゃのイメージが浮かびやすいように具体例や注意して頂きたい点などをまとめた Word 資料も合わせて提示しました。(資料↓)

日本で使われてないおもちゃをカンボジアのスラム街に届ける。

[目的]

スラム街の学校に「学ぶこと以外の魅力」=「遊び部屋」を作るため。

「遊び部屋」の魅力として遊びの幅(=経験の幅)を広げてくれるおもちゃを用意するため。

[どんな遊び部屋?]

・ **学校の求心力**

勉強が苦手な子ども学校に興味のない子ども遊びにいきたくなるような部屋

・ **子どもを守る場**

安全が確保されている。

同じ空間に多くの子どもが集まれば、そこにいる子どもの安全や健康を団体のスタッフが見守りやすい。

できるだけ長い時間(休憩時間や放課後も)子どもたちが学校に残ってくれば、団体スタッフが子どもの安全や健康を守りやすい。

・ **子どもの逃げ場**

ネグレクトや虐待を受けている子どもたちがリラックスできる場所。

・ **学舎**

授業とは違う、遊びから得る学びを得られる場。

知的ゲームで頭を使う遊び場

・ **親にもメリットのある場**

子どもを見守りながら自然と生まれる団体スタッフとの会話から教育の重要性を学ぶ場
同じ空間に多くの子どもが集まれば、一人の親が子どもを見守り、その人以外の親は職を探しに行けたり、家事ができる。

子どもたちと接する時間を設ける場所

[どんなおもちゃ?]

第一に、**洗いやすく壊れにくい**おもちゃ。

また脳の体操になるもの、友達とのコミュニケーションがうまれるようなおもちゃが望ましい。

対象年齢は問わない。豊富な種類、より多くのおもちゃが欲しい。

具体的な例を挙げると、

ボードゲーム、おもまごとセット、医療グッズ、ゴム人形、レゴブロック、楽器もどき、パズルなど

寄付頂いたおもちゃは1度日本で選別し、条件を満たしたおもちゃのみをスラム街に寄付させていただきます。

またコストの関係で寄付して頂いたおもちゃを全て送ることはできない可能性があることを、ご了承下さい。

また AIESEC 一橋大学委員会のメンバーに支援をお願いして、新品のボードゲームを一つこのプロジェクトに寄付して頂けるよう、クラウドファンディング・Polca を利用して購入費を集めました。Polca のページ文章は岡川勘太くん(一橋大学1年)が、ボードゲーム購入及びカンボジアに渡航する SeedA スタッフメンバーにそれを託してくれたのは山崎有紗

【カンボジアのスラム街に「オモチャいっぱい遊び部屋」を作る！】
「遊び部屋」作り活動報告書

さん（東京外国語大学1年）、またカンボジアまで運んでくれたのは星野優さん（国際基督教大学2年）です。

〈スポーツフェスティバルへの参加〉

2017年8月25日から27日に学生団体SeedA様とJanesana International School様が一緒に開催されたスポーツフェスティバルに、26日・27日の二日間チャリティーブースを設置させて頂きました。

もとより主催する学生団体SeedA代表の飛矢智希様にご提案頂いた活動でスポーツフェスティバルを主催する方々には飛矢様を通して了承頂いておりましたが、改めて21日月曜日にYLCセンター・コーディネーターSophat MakとJanesana International Schoolの校長先生を訪ねました。そこでACE団体紹介、本プロジェクトの説明をし、正式にチャリティーブース設置のお願いをして参りました。快く引き受けてくださった後、飛矢様の案内で、スポーツフェスティバルが行われるフィールドを見学し、当日どのようにブースを設置するかのイメージをしました。

26日土曜日は8時頃にスポーツフェスティバルの開催されたカンボジア・プノンペンにあるK11スポーツクラブに到着し、鈴木朝香、Sophat Mak他2人のACEスタッフと3人のYLCに通う生徒の計7人でブースを構えました。この日は2人の日本人学生にオモチャを寄付して頂いたほか、あらかじめ鈴木所属するAIESEC一橋大学委員会のメンバーにお願いしていたボードゲームを届けてもらいました。この日はフェスティバルが終わる11時頃までブースを開きました。



(SeedA スタッフと)

27日日曜日は前日より少し遅れた到着となりましたが、午後にも文化交流イベントが開かれていたので午後5時頃までのほぼ一日ブースを設置させて頂きました。前日の反

【カンボジアのスラム街に「おもちゃいっぱい遊び部屋」を作る！】
「遊び部屋」作り活動報告書

省も活かして、少しブースの置き方やプロジェクト紹介の仕方を改善しました。この日は鈴木ともう一人の ACE スタッフの二人で参加しましたが、計\$44 と 1300 リエル(\$1=\$4000 リエル)の寄付を頂きました。飛矢様の尽力でフェスティバル参加者へブース説明をさせて頂いたり、Janesana International School 校長先生のご厚意でフェスティバル限定のTシャツを頂いたりとたくさんの温かいご協力を頂きました。



(Janesana International School 校長ご夫妻と)

〈団体や企業様への協力お願い活動〉

「遊び部屋」プロジェクトにご協力頂けないかとカンボジア・プノンペン市内でコンタクトのとれる団体・企業様を訪問いたしました。

初めにお電話させて頂いたのが、Nojima(Cambodia)Co,Ltd のファイナンシャル・ディレクター、安間大悟様で、9月1日に連絡して、12日午前10時にイオンモール・プノンペン内のショップでお話をする約束をしました。

4日午後には Cambodia JUDO Federation のプレジデント、Mr.Lach Vuthy とコンタクトを取り、18時頃にオリンピックスタジアムでお話させて頂きました。

7日午後にはイオンモール・プノンペンのカスタマーケアマネジャーの多田様にプロジェクトの説明とご協力のお願いを聞いていただきました。事前連絡をせずに突然お邪魔してしまいましたが、丁寧に対応してくださいました。

12日は約束通りに Nojima(Cambodia)様をプログラム・マネージャーRathana Sun と共に訪問し、ACE 団体説明およびプロジェクトの紹介、そしてご協力のお願いをして参りました。ファイナンシャル/ディレクターの安間様も大変関心をもって私たちの話を聞いて下さり、直接的な支援は難しいが、カンボジア日本人商工会(JBAC)のメンバー様にこの活動を話してみると言うてくださいました。後日メールにて安間様から JBAC の方に話を通し

【カンボジアのスラム街に「おもちゃいっぱい遊び部屋」を作る！】
「遊び部屋」作り活動報告書

たことを連絡してくださいました。

大きな成果を得られることはありませんでしたが、小さな進展や新たな繋がり、情報を、この活動から得られました。

〈「遊び部屋」壁塗装と必要物品の購入〉

9月5日より「遊び部屋」の壁をペイントし始めました。まずは下地を塗り、その後ドイツからきたACEボランティアワーカーのRia Blümckeに木の絵をかいてもらうことにしました。下地塗りを手伝ってくれたのはACEスタッフPhal Len KuchとThida Tep、日本から来たボランティアワーカー大谷萌さんと(神戸大学1年)、森原佳歩さん(神戸大学2年)、マレーシアからきたボランティアワーカーのKhai Wernです。

9月13日水曜日には購入する必要がある物品、マットと扇風機の下見にACEスタッフHay Bunhamとプノンペン市内のショップを回り、翌14日午前中にACEディレクターのSokchea (Ray) SAINGと商品の確認をしながら購入し、YLCのなかにある「遊び部屋」まで運びました。

〈引継ぎドキュメントの作成と受け渡し〉

「遊び部屋」プロジェクトに関するドキュメントの作成を11日より開始しました。具体的にはMemorandum of Understandingとおもちゃ寄付のお願い文書、会計表、今後のタイムラインを作成し、ACEディレクターのSokchea (Ray) SAINGとプログラム・マネージャーRathana Sunの3人で共有しました。以下はMemorandum of Understandingとおもちゃ寄付のお願い文書です。この2つの資料を提示して、今後も完成まで「遊び部屋」プロジェクトを継続していくこと鈴木とACEスタッフの間で確認しました。

【カンボジアのスラム街に「おもちゃいっぱい遊び部屋」を作る！】
「遊び部屋」作り活動報告書

Memorandum of Understanding

Project of making "Playing Room" in YLC

This document is entered between **Asaka Suzuki** and staffs of Advanced Centre of Employment (ACE).

Responsibility

1. **Mr.Sophat** will send a picture of "playing room" to **Asaka** on **every wednesday**.
2. **Asaka** will report her activity **twice a month** (on wednesday) to the office of ACE and **Mr.Ray** by Email.
3. We will inform to each other before we make some actions.
4. **Miss. Rathana** will send the document about the donation of toys to every volunteer worker when they decide to join volunteer work in ACE.
5. If anything changes we should inform them as soon as possible (personal , strategy changes...)

Contact

Advanced Centre for Empowerment

Email: office.ace2016@gmail.com

Asaka Suzuki

Email: asaka.suzuki@aiesec.jp

Ask for your cooperation in the project "playing room"

Purpose of the project "playing room"

To protect the health, the safety and many kinds of opportunities of children of Young Leader Centre (YLC).

Reason why we do this project

Children of YLC are **not protected**.

They are playing near a construction site or around a garbage pile.

Moreover most of their parents ...

- Do not know how to take care of children
- Are not interested in the health and the safety of children
- Are violent
- Are not interested in an education
- Consider their children as labor force (That is because they can not earn enough money to live from only their working.)

ACE need to protect children **insted** of their parents.

Targets

We want children to come to our centre.

Our "playing room" will be...

- New attractive point of YLC in addition to learning
- Place to protect the health and the safety of children
- Place for children to relax
- Place for learning by playing
- Place which also has advantages for parents

What we want to ask...

To bring toys which you will not use any more.

For example...

Board games, cards, LEGO block, balls, instrument toys, dolls, toy cars, plarail, etc...



**【カンボジアのスラム街に「おもちゃいっぱい遊び部屋」を作る！】
「遊び部屋」作り活動報告書**

【会計報告】

日付	内訳	収入	支出	合計
8/27	スポーツフェスティバル寄付	\$44.325		\$44.325
9/11	白インク(壁塗装)		\$9	\$35.325
	オイル(壁塗装)		\$0.45	\$34.875
9/13	緑インク(壁塗装)		\$3.875	\$31
	おもちゃ		\$7.80	\$23.2
	ペイントブラシ(壁塗装)		\$1.5	\$21.7
9/14	マット		\$179.4	-\$157.7
	LED ライト		\$10	-\$167.7
	扇風機(2台)		\$58	-\$225.7

*10月1日にクラウドファンディング・キャンプファイヤーでプロジェクトが募集を終了したあと、皆様の支援金も私たちが利用できるようになります。それまでは鈴木がこれらの資金を立て替えております。

【ご協力くださった団体様】

◇ **学生団体 SeedA 様**

スポーツフェスティバルでのチャリティーブース設置を許可し、テントや椅子、机などを提供くださった他、「遊び部屋」におくセカンドハンドのおもちゃを日本から持ってきてくださいました。

また代表飛矢智希様にはクラウドファンディングページ公開前からプロジェクトへのアドバイスやサポートを頂き、大変この「遊び部屋」作りにご協力くださいました。

学生団体 SeedA 団体ホームページ URL <https://www.seedaproject.com/>

◇ **Janesana International School 様**

スポーツフェスティバルでのチャリティーブース設置を許可してくださいました。スポーツフェスティバル中はテントや机、いすを提供くださった他、ブースのプロモーションにもご協力くださいました。

【ご協力くださった方々】

活動にご協力くださった個人様のお名前を五十音順にご紹介します。

大谷萌(Oya Moyuru) 神戸大学 1年 ACE ボランティアワーカー

岡川勘太(Okagawa Kanta) 一橋大学 1年 AIESEC 一橋大学委員会

杉田桂太郎(Sugita Keitaro) 一橋大学 3年 AIESEC 一橋大学委員会

飛矢智希(Hiya Tomoki) 一橋大学 3年 学生団体 SeedA 兼 AIESEC 一橋大学委員会

本木雅朗(Motoki Masaaki) 一橋大学 3年 AIESEC 一橋大学委員会

【カンボジアのスラム街に「おもちゃいっぱい遊び部屋」を作る！】
「遊び部屋」作り活動報告書

森原佳歩(Morihara Kaho) 神戸大学 2年 ACE ボランティアワーカー
山崎有紗(Yamazaki Arisa) 東京外国語大学 1年 AIESEC 一橋大学委員会
Khai Wern マレーシア・クアラルンプール在住 ACE ボランティアワーカー
Ria Blümcke ドイツ・ヒルデスハイム在住 ACE ボランティアワーカー
Hay Bunham カンボジア・プノンペン在住 ACE 通年ボランティア大学生
Phal Len Kuch カンボジア・プノンペン在住 ACE 通年ボランティア大学生
Sreypov KH カンボジア・プノンペン在住 ACE スタッフ
Thida Tep カンボジア・プノンペン在住 ACE 通年ボランティア大学生
Vichra Kham カンボジア・プノンペン在住 ACE スタッフ

*最終的に「遊び部屋」が完成するのは来春 2018 年 3 月頃になりそうですが、また折を見て活動報告書を作成いたします。